

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22101	公衆衛生学 Public health program	根間 健吉	専門基礎	2	必修	2 年前期

科目の概要

公衆衛生とは病気を予防し、寿命を延ばし、健康とよき生活をもたらす科学と技術である。組織化された地域社会の努力で衛生的な環境、感染症の制圧、病気の早期診断と予防のための医療と個人への健康教育、健康の維持と改善によって人々の生活の質を高めることを目的としている。日本国民は憲法第 25 条によって生存権が保障され、国家は国民が健康な生活が持てるように努力する義務を負っている。このように健康政策を推進するには国を主体とする行政の出動が不可欠である。どのように法体系が整備され、どのような制度や対策がとられているのか、これらはどのように国民と関わっているのかを理解する。この授業では、栄養士として科学的根拠に基づいて国民の栄養・食生活を改善できる能力を身につけることができる。

★医療施設や総合福祉施設で衛生管理者及び管理栄養士として、労働衛生や主要疾患とその予防、生活習慣と健康、母子保健に関わる業務の経験があり、栄養士として具備しなければならないそれらの分野について、現代社会における環境と健康に重点を置き、より実践的な学修を行う。

学修内容	到達目標
① 公衆衛生の概念、生態系の中の人間生活、環境汚染と健康影響及び環境衛生、保健統計の概要について学修する。	① 公衆衛生の目標、大気汚染や水質汚染と健康、人口動態統計及び人口動態統計、生命表について理解し、分かりやすく説明することができる。
② 疫学と疾病、疫学研究の方法、生活習慣と健康、健康に関する行動と社会、がんや循環器疾患など主要疾患について学修する。	② 根拠(エビデンス)に基づく医療(EBM)、身体活動・運動と健康、健康日本 21(第二次)及びがん、心疾患、糖尿病などの主要疾患について理解し、分かりやすく説明することができる。
③ 感染症とその予防、精神疾患、社会保障と行政の仕組みについて学修する。	③ インフルエンザ HIV/エイズ、ノロウイルス感染症などの主要感染症、精神障害者の医療、社会保障の概念と栄養関連法規について理解し、分かりやすく説明することができる。
④ 医療制度、福祉制度、地域保健、母子保健について学修する。	④ 保険医療制度の概要と特徴、社会福祉事業の概要、保健所と市町村保健センターの役割、母子保健事業の内容について理解し、分かりやすく説明することができる。
⑤ 成人保健、高齢者保健、産業保健、学校保健制度について学修する。	⑤ 特定健康診査と特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害、学校保健安全対策について理解し、分かりやすく説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前 踏 み 出 す 力	主体性	人間生活が地球環境にどのような影響をもたらしているかについて、必要な文献および資料を検索して取り組むことができること。
	働きかけ力	
考 え 抜 く 力	実行力	「健康・医療・介護・福祉」に関する学修内容に関して、提出期限までにレポートを仕上げするための手順や方法を考えて作業を進めることができること。
	課題発見力	感染症の成立要因と伝播様式について情報を客観的に整理し、課題を見つけ出し、その発生予防や蔓延防止対策について推察することができる。
	計画力	
チ ム で 働 く 力	創造力	健康教育とヘルスプロモーションについて物事を考えるときに、固定概念にとらわれず、多角的に考えることができること。
	発信力	新聞から「社会生活と健康」に関する新聞記事を見つけ出して収集し、整理した内容を的確にわかりやすく説明できること。
	傾聴力	「健康・疾病・行動に関わる統計資料」について、人の意見を確認し、その中で新たなことに気づき、さらに自分の意見を建設的に述べるができること。
	柔軟性	
	状況把握力	
規 律 性	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献	
テキスト:「公衆衛生学」2019／2020 版 中村信也編著 同文書院 価格 2,500 円＋税 参考文献:「国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書の各年版」(財団法人厚生統計協会、第一出版ほか)	
他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連: 社会福祉概論、公衆栄養 資格との関連: 栄養士(管理栄養士)、医事管理士、医療管理秘書士	
学修上の助言	受講生とのルール
新聞やテレビなどで報道される健康関連のニュースに注意を払い環境問題や「保健・福祉・医療・介護」に関する情報を得て、自分なりの考えをまとめて授業に臨んでください。	新聞から学ぶ授業を推進するので、関心を示す記事について収集し感想をまとめてください。また、レポートの提出期限は守ってください。交通事情など特別な理由がなく、20 分以上遅刻することは認めません。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・全国栄養士実力認定試験の難度レベルを参考に出題することとし、「B評価」以上の判定(得点)を到達目標ラインとする。 ・公衆衛生の概念、生態系の中の人間生活、環境汚染と健康影響及び環境衛生、保健統計の概要を理解していること。 ・疫学と疾病、疫学研究の方法、生活習慣と健康、健康に関する行動と社会、がんや循環器疾患など主要疾患について理解していること。 ・感染症とその予防、精神疾患、社会保障と行政の仕組みについて理解していること。 ・医療制度、福祉制度、地域保健、母子保健について理解していること。 ・成人保健、高齢者保健、産業保健、学校保健制度について理解していること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
ワークシート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の授業の終了時にワークシートを提出すること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	5	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・学修内容①～⑤に係る新聞記事を5件収集し、それぞれ300字以内で感想や意見をまとめ、作成要領に基づいて提出することができること。 ・具体的な作成要領は授業で示す。 ・新聞記事を精読し分析して、自らの考えや意見が記述されていること。 ・レポートは丁寧に取り扱い棄損や汚れ、脱落がないように整理されていること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	5	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・作成要領を遵守して受理された者に限り発表できる。ポイントを分かりやすいように工夫して伝えること。なお、発表方法、時間、順番等は授業で説明する。 注)レポート未提出者は成果発表をすることができない。この場合、レポートの評価割合と成果発表の評価割合、併せて20点が減点となる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 第6週及び第11週の2回実施する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		<ul style="list-style-type: none"> 「主体性」人間生活が地球環境にどのような影響を与えているか、指示がなくても文献や統計資料を検索して取り組むことができること。 「実行力」健康・医療・介護・福祉に関する学修内容に関して、提出期限までにレポートを仕上げるための手順や方法を考えて進めることができること。 「課題発見力」感染症の成立要因と伝播様式について、事実に基づいて情報を客観的に整理し、発生予防や蔓延防止の課題を見つけることができること。 「創造力」特定健康診査と特定保健指導について、これまでの固定概念にとらわれず、多角的に考えることができること。 「発信力」新聞から「社会・環境と健康」に関する情報を見つけ出し、内容を整理して的確な文章で表現し又は口頭で説明できること。 「傾聴力」健康・疾病・行動に関わる保健統計について、人の意見を確認し、新たなことに気づき、さらに自分の意見を建設的に述べるができること。 「規律性」無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができること。なお、交通事情など特別な理由がなく、無断で20分以上遅刻することは認めない。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100		✓	筆記試験、毎週のワークシート、レポート、成果発表及び学修態度の成績を総合的に評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★公衆衛生の目標、大気汚染や水質汚染と健康、人口静態統計及び人口動態統計、生命表について理解し、分かりやすく説明することができる。(①)</p> <p>★根拠(エビデンス)に基づく医療(EBM)、身体活動・運動と健康、健康日本 21(第二次)及びがん、心疾患、糖尿病などの主要疾患について理解し、分かりやすく説明することができる。(②)</p> <p>★インフルエンザ HIV/エイズ、ノロウイルス感染症などの主要感染症、精神障害者の医療、社会保障の概念と栄養関連法規について理解し、分かりやすく説明することができる。(③)</p> <p>★保険医療制度の概要と特徴、社会福祉事業の概要、保健所と市町村保健センターの役割、母子保健事業の内容について理解し、分かりやすく説明することができる。(④)</p> <p>★特定健康診査と特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害、学校保健安全対策について理解し、分かりやすく説明することができる。(⑤)</p> <p>★栄養士実力認定試験ガイドラインで示す基礎的知識を十分に修得し、的確に説明できること。(⑥)</p> <p>S(秀) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥</p> <p>A(優) = ① + ② + ③ + ④ + ⑥</p>	<p>★公衆衛生の目標、大気汚染や水質汚染と健康、人口静態統計及び人口動態統計、生命表について理解し説明することができる。(①)</p> <p>★根拠(エビデンス)に基づく医療(EBM)、身体活動・運動と健康、健康日本 21(第二次)及びがん、心疾患、糖尿病などの主要疾患について理解し説明することができる。(②)</p> <p>★インフルエンザ HIV/エイズ、ノロウイルス感染症などの主要感染症、精神障害者の医療、社会保障の概念と栄養関連法規について理解し説明することができる。(③)</p> <p>★保険医療制度の概要と特徴、社会福祉事業の概要、保健所と市町村保健センターの役割、母子保健事業の内容について理解し説明することができる。(④)</p> <p>★特定健康診査と特定保健指導、介護保険制度、職業と健康障害、学校保健安全対策について理解し、分かりやすく説明することができる。(⑤)</p> <p>★栄養士実力認定試験ガイドラインで示す基礎的知識をある程度修得し、説明が普通レベルであること。(⑥)</p> <p>B(良) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥</p> <p>C(可) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	(ガイダンス) (健康と公衆衛生) 健康の定義と目的、公衆衛生の概念と目標、公衆衛生と予防医学の歴史を学修する。	講義 シラバス解説 ワークシート	健康の定義、日本国憲法第25条「生存権」と健康の権利について、「国民健康づくり運動」について説明することができる。	(復習)人々の健康を保ち増進するための公衆衛生の意義について復習すること。 (予習)我が国の4大公害裁判及び公害事件について調べておく(テキストp21~25)。	180	主体性 規律性
2週 /	(環境と健康) 生態系の中の人間生活、環境汚染と健康委影響、環境衛生について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	人間と環境の相互作用、環境保全の重要性、地球環境問題、環境ホルモン公害の発生と公害事件、上水道の水質基準について説明することができる。	(復習)地球環境問題、環境ホルモン公害の発生について整理する。 (予習)国勢調査の目的や実施方法について調べること(テキストp30)。	180	主体性 課題発見力
3週 /	(保健統計) 人口静態統計の概要、人口動態統計の概要、生命表及び傷病統計について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	人口の推移、人口ピラミッド、人口の高齢化と少子化、出生と死亡、年齢調整死亡率、健康寿命について国際比較しながら説明できる。	(復習)我が国の人口問題を国際比較してまとめること。 (予習)記述疫学と分析疫学及び介入疫学の個々の特徴を調べること(テキストp59~63)。	180	主体性 課題発見力
4週 /	(疫学と疾病) 疫学の概念、疫学の指標とバイアス、疫学研究の方法、スクリーニング、エビデンスに基づく医療について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	疫学の定義や領域、疾病頻度、バイアス、記述疫学と分析疫学及び介入疫学の個々の特徴、スクリーニングの目的と注意点について理解し説明することができる。	(復習)バイアスと疫学研究方法について研究デザインの特徴をまとめる。 (予習)喫煙や飲酒の現状と社会的問題について調べること(テキストp78~84)。	180	主体性 創造力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
5週 /	(生活習慣と健康) 健康に関連する行動と社会、身体活動・運動と健康、喫煙と飲酒及び睡眠・休養・ストレスと健康、歯科保健と健康について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	生活習慣病の概念、健康日本 21(第二次)の内容、喫煙や飲酒の現状と社会的問題、ストレスと休養指針、歯科保健の食育推進について説明できる。	(復習)次週の小テストに向けて第1週～5週までの学習内容を整理する。 (予習)高血圧、脳血管疾患、心疾患、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの現状とその原因について調べておくこと(テキストp100～111)。	180	主体性 傾聴力
6週 /	(主要疾患) 主要部位のがん、循環器疾患、代謝疾患、骨・関節疾患、消化器疾患、慢性腎臓病、慢性閉塞性肺疾患について発症や予防、死亡の現状を学ぶ。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。 小テスト①	がんの部位別粗死亡率とその原因について理解し、また、高血圧、脳血管疾患、心疾患、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの個々について現状や予防対策を説明できる。	(復習)高血圧、脳血管疾患、心疾患、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームについて食生活との関連をまとめること。 (予習)感染症法に基づく感染症の種類を調べておくこと(テキスト p122)。	180	主体性 実行力
7週 /	(感染症とその予防) 感染症の成立、感染症法、主要感染症、新興感染症と再興感染症、予防接種について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	感染症類型に基づく1類感染症～8類感染症について感染症対策が説明できる。また、予防接種の類型と問題点を理解し説明できる。	(復習)主要感染症の伝播経路や発生状況、予防接種の功罪についてまとめる。 (予習)自殺の現状について死亡率の推移、年齢階級別自殺死亡率、原因などについて調べておく(テキストp138～139)。	180	主体性 課題発見力
8週 /	(精神疾患) 精神保健、精神関連問題及び不慮の事故・虐待・暴力の現状及び防止対策について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	精神障害者の受療状況、地域における精神保健サービス、精神障害者福祉対策について理解し説明できる。また、自殺と虐待について現状と対策を説明できる。	(復習)精神障害者福祉対策について概念と現状についてまとめること。 (予習)栄養関連法規について調べておく(テキスト p151～154)。	180	主体性 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	(社会保障と行政) 社会保障の概念、行政の仕組み、栄養関連法規、都道府県と市町村の役割について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	社会保障制度、国の役割と法律、食品安全基本法、食育基本法、健康増進法、栄養士法、学校給食法、食品衛生法、食品表示法について各々の目的が説明できる。	(復習) 栄養関連法規の目的と意義についてポイントをまとめること。 (予習) 職業病とその防止対策についてまとめること(テキスト p251~255)。	180	主体性 規律性
10週 /	(医療制度) 医療保険制度、医療施設、医療従事者、国民医療費について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	医療保険の種類と対象、地域医療支援病院と特定機能病院、医療法と地域医療計画及び国民医療費、医療従事者の業務と届出医療従事者について説明できる。	(復習) 次週の小テストに向けて第6週~10週までの学修内容を復習する。 (予習) 社会福祉事業、社会福祉施設について調べておくこと(テキスト p189~171)。	180	主体性 創造力
11週 /	(福祉制度、地域保健) 社会福祉制度、地域保健活動の概要、保健所と市町村保健センター、地域保健従事者、地域における危機管理、地域保健法の概要について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。 小テスト②	社会福祉と関連法規、社会福祉事業、社会福祉施設、障害者福祉について理解し説明できる。また、保健所の機能と業務、市町村保健センターの役割について分かりやすく説明できる。 小テストを行う。	(復習) 保健所の機能と業務、市町村保健センターの役割についてまとめ、理解すること。 (予習) 健やか親子21、子ども・子育てビジョンの内容について調べておくこと(テキスト p191~195)。	180	主体性 発信力
12週 /	(母子保健) 母子保健の概要、母子保健事業、健やか親子21、子ども・子育てビジョン、母子保健法について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。	母子保健の目的、市町村と都道府県の役割、母子保健事業の内容、母子健康手帳、子ども・子育てビジョンについて理解し説明できる。	(復習) 市町村と都道府県の役割、母子保健事業の内容、母子健康手帳の意義について要点を整理すること。 (予習) 特定健康診査と特定保健指導(p199~201)及び介護保険制度の概要(テキスト p206~214)についてまとめておくこと。	180	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
13週 /	(成人保健、高齢者と介護保険制度) 生活習慣病、特定健康診査と特定保健指導、高齢者医療確保法、高齢者保健・介護の概要、介護保険制度について学修する。	講義 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。 レポート提出	生活習慣病の推移及び予防と管理、特定健診・保健指導の問題点を理解し説明できる。また、介護保険制度の概要と仕組み、要介護認定、介護サービスと介護報酬について説明できる。	(復習)介護保険制度の概要と仕組み、要介護認定、介護サービスと介護報酬に関して要点をまとめること。 (予習)職業性疾病の種類と原因、障害及び関連する職場について調べておくこと(テキストp221)。	180	主体性 傾聴力 規律性
14週 /	(産業保健) CSRと健康、安全衛生管理体制及び労働安全衛生対策、職業と健康障害について学修する。	講義・発表 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。また、発表の結果について講評する。	安全管理者、産業医、衛生管理者及び安全管理者、作業環境管理及び作業管理、健康管理、過重労働、職業病について説明できる。また、課題レポートをもとに分かりやすく発表できる。	(復習)作業環境管理及び作業管理、健康管理、過重労働、職業病について要点を整理しておくこと。 (予習)学校保健従事者の仕事の概要を調べておく(テキストp225)。	180	発信力 傾聴力 課題発見力 規律性
15週 /	(学校保健と安全、国際保健) 学校保健の概要、学校保健従事者、学校保健教育、学校保健安全対策、学校保健安全統計、地球規模の健康問題、多国間協力の形態について学修する。	講義・発表 授業の開始時に前週のワークシートの結果を基に質疑応答を実施した後、フィードバックする。また、発表の結果について講評する。	学校保健行政、学校保健・安産の内容、栄養教諭、保健教育と保健管理、健康診断と感染症予防、有訴者率について説明できる。また、JICA、JOCV、UN、UNICEF、WHO、FAO等国際機関の役割について説明できる。さらにレポート課題を基に分かりやすく発表できる。	(復習)学校保健安全対策と地球規模の健康問題に対応するための、多国間協力の形態についてまとめること。また、今後の公衆衛生のあり方について栄養士の視点からまとめること。	180	発信力 傾聴力 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力